

パトリック・ギゲールさんの講演会

この夏、8月11、12日に開催される第53回日本発達障害学会特別講演の演者としてフランス国立現代芸術センター「リュウ・ユニック」(ナント市)のディレクター パトリック・ギゲールさんを招くことになりました。そこで、せっかく広島県に来られることから広島県知的障害者福祉協会の会員や近隣の障害者アートに関心のある人たち、また、一般市民を対象に広島市で講演会を開催したいと企画いたしました。

パトリック・ギゲールさんは昨年ナント市で開催された「KOMOREBI」展(日本のアール・ブリュット展)のキュレーターをした方で、学会では「世界のアール・ブリュット、日本のアール・ブリュット」をテーマに語られます。できれば広島は「アール・ブリュットについて」をテーマに話を聞き、皆さんとアートについての情報を共有したいと計画したものです。

日時

平成30年 **8月10日**(金)
午後1時30分～午後3時30分

場所

広島県立美術館 地下1階 講堂
広島市中区上幟町 2-22

講師

パトリック・ギゲールさん
フランス国立現代芸術センター「リュウ・ユニック」館長

テーマ

アール・ブリュットについて

入場料

無料

主催

広島県知的障害者福祉協会

共催

広島県知的障害者福祉協会事業部会(芸術文化活動部会)
社会福祉法人柏学園
社会福祉法人創樹会
社会福祉法人三矢会
アトリエ ぱお造形教育研究所
認定NPO 法人コミュニティリーダーひゅーるぼん

後援

広島県手をつなぐ育成会 広島市手をつなぐ育成会
広島県身体障害者施設協議会 広島県社会福祉協議会



Patric Gyger

パトリック・ギゲール

フランス国立現代芸術センター「リュウ・ユニック」館長

歴史家、作家、学芸員。1999年から2010年にかけて、「ユートピア」をテーマにした人間の文化・芸術をコレクションしている、「メゾン・デ・リュール」(空想科学博物館・スイス)の館長を務める。展覧会やイベントの企画はもちろん、美術評論・研究・出版を幅広く行っている。2011年から、フランス、ナント市の国立現代芸術センター「リュウ・ユニック」の館長を務め、2017年に行われたナント市と日本の文化芸術国際交流事業の主催者の一人です。